

インフルエンザが3度目の流行期となりました！

～川崎市内におけるインフルエンザ流行状況～

概要

本市におけるインフルエンザの定点当たり患者報告数が、令和元年第20週（集計期間：5月13日～5月19日）に1.00人を超えて1.49人となりました。

今シーズン3度目の流行期となりましたので、お知らせします。

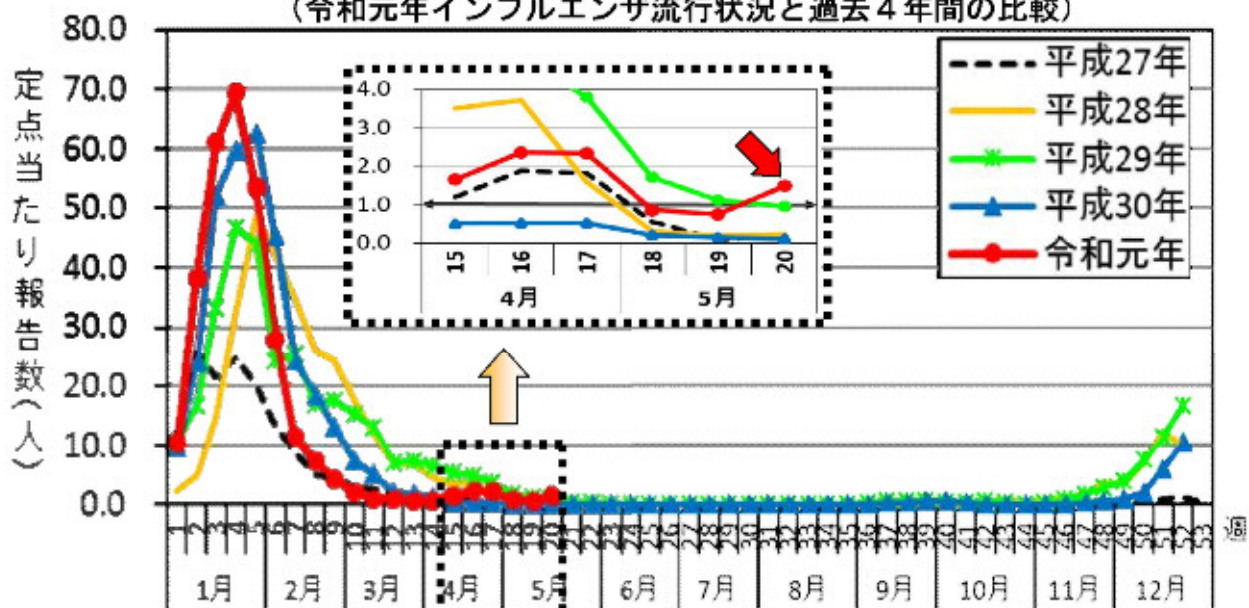
引き続き、別添リーフレットを参考にインフルエンザに「かからない、うつさない」ために一人ひとりが予防を心掛けましょう。

1 本市におけるインフルエンザ流行状況

本市では、毎週61施設のインフルエンザ定点医療機関から患者の発生状況を報告いただき、市内のインフルエンザの発生動向を把握・分析し市民の皆様へ情報提供を行っています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は、第18週（4月29日～5月5日、定点当たり0.86人）に流行の目安である1.00人を下回り、非流行期となりましたが、第20週（5月13日～5月19日、定点当たり1.49人）に1.00人を超え、今シーズン3度目の流行期となりました。市内の小学校や中学校ではインフルエンザによる学級閉鎖が報告されています。

川崎市内におけるインフルエンザ患者報告数
(令和元年インフルエンザ流行状況と過去4年間の比較)



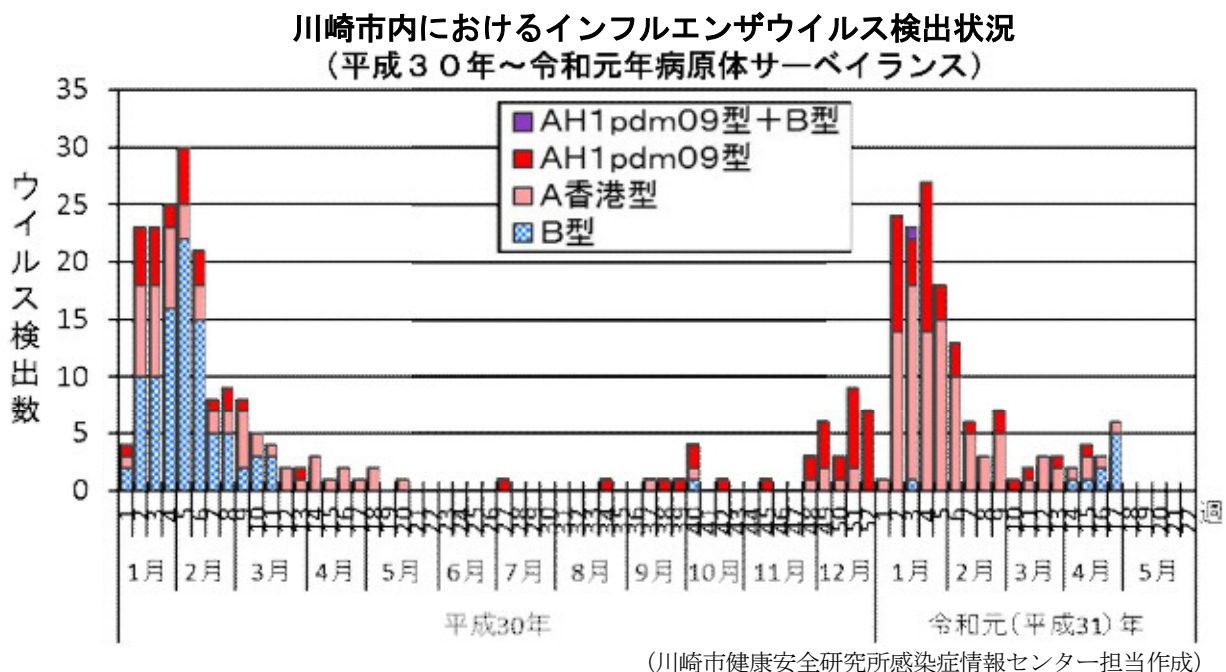
(川崎市健康安全研究所感染症情報センター担当作成)

2 本市におけるインフルエンザウイルス検出状況

感染症発生動向調査では、市内16箇所の病原体定点医療機関から検体の提供をいただいて、インフルエンザウイルスの検査を行い、流行しているインフルエンザウイルスの型の把握を行っています。

今シーズンの検体提供数は202件であり、そのうち183検体からウイルスが検出され、その内訳はA香港型が103件、AH1pdm09型（平成21年に流行した新型インフルエンザウイルス）が68件、B型が11件、AH1pdm09型+B型が1件となっています。

※令和元年5月22日結果判明分まで



3 最近4週間の定点当たり患者報告数

第17週（4月22日～4月28日）：2.34人

第18週（4月29日～5月5日）：0.86人

第19週（5月6日～5月12日）：0.74人

第20週（5月13日～5月19日）：1.49人

《問合せ先》

川崎市健康福祉局保健所

感染症対策課 小泉

電話 044-200-2446

ウイルスを撃退して

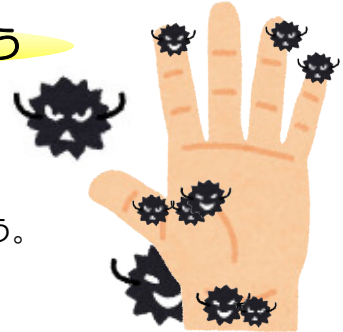
インフルエンザを予防しましょう！

川崎市内でインフルエンザが流行しています。

インフルエンザに「かからない、うつさない」ために、正しい衛生習慣を身につけましょう。

外出から帰ったら、必ず、手洗い、うがいをしましょう

- ◆ ウイルスは目に見えないため、どこについているかわかりません。外出したら、必ず石けんで手洗い・うがいをしましょう。
- ◆ 洗っていない手で、目や鼻、口を触らないように習慣づけましょう。
- ◆ 洗った手は清潔なタオルやペーパータオルで拭きましょう。



人にせきやくしゃみをかけない「せきエチケット」を身につけましょう

- ◆ せきやくしゃみが出たら、
 - ・他の人にうつさないようにマスクを着用しましょう。（口だけでなく鼻もおおきましょう）
 - ・マスクを持っていない場合は、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで口と鼻をおおきましょう。
- ◆ せきやくしゃみを手でおおったら、手を石鹸で丁寧に洗いましょう。
- ◆ 鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐゴミ箱にすてましょう。



マスクは正しく着用しましょう！

ワクチン接種を受けましょう



- ◆ インフルエンザにかかった場合の重症化を防ぐ効果が期待できます。接種から2～3週間で効果が現れますので、まだ受けていない方はできるだけ早い接種をおすすめします。

空気環境やふだんの健康管理に注意しましょう

- ◆ 部屋は適切な湿度を保つようにしましょう。（湿度50%～60%程度）
- ◆ 定期的に換気をよく行いましょう。
- ◆ 十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。



なるべく人混みへの外出は避けましょう



- ◆ インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときはなるべく、人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ◆ 発熱や関節痛等のインフルエンザが疑われる症状があるときは、無理をして学校や職場には行かず、早めに医療機関を受診しましょう。